

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	鼓ヶ浦つばさ園			
○保護者評価実施期間	令和7年11月6日		～	令和7年11月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	82	(回答者数)	78
○従業者評価実施期間	令和7年12月8日		～	令和7年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	18
○事業所向け自己評価表作成日	令和8年2月4日		※第三者による外部評価を導入し作成	

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの「できた」を大切にす支援姿勢が職員間で共有され、こどもだけでなく保護者に対して肯定的で安心感のある関わりが一貫して実践されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・個々のニーズに応じた活動を計画し、ADL、感覚・運動、創作活動を日々のプログラムに体系的に取り入れている。 ・家庭・学校・関係機関との連携が円滑であり、情報共有が組織的かつ継続的に行われている。 ・クラス活動に加え、3クラスを発達段階や就学先等を考慮して再編成したグループによる活動プログラムを実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の負担感に配慮し、必要に応じて電話・ICTツール・対面など複数の連絡手段を適切に使い分ける体制を整える。 保護者向けのミニ講座、相談日、交流会などを企画し、家庭での関わりを支える情報提供や相談体制を強化する。
2	こどもの特性やニーズを多面的に把握し、クラス活動や個別支援計画に適切に反映できている。また、園庭の整備や教室の改築により、発達段階に応じたグループ分けが可能となり、より細やかな支援プログラムを実施できる環境が整っている。	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心な環境づくりに向け、リスク管理や環境調整を継続的に行い、こどもが安心して活動に参加できる体制を整えている。 今年度より中核機能強化加算Ⅰを取得し、公認心理士を配置して地域支援(学校等への派遣)を実施している。 また、専門的支援を積極的に活用し、リハビリ職員による見学や助言を受けながら支援の質向上を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 公認心理士やリハビリ専門職との連携を一層強化し、専門的視点を日々の支援により体系的に反映する体制を整える。 地域支援で得られた知見を事業所内に還元し、個別支援計画や集団プログラムの改善につなげる。
3	20代から50代まで幅広い年齢層の職員が在籍しており、多様な視点や経験を活かした支援ができています。	主任・副主任・リーダー職員を中心に、常勤・非常勤がバランスよく配置され、役割分担が明確である。	<ul style="list-style-type: none"> 研修や振り返りの機会を確保し、スタッフの専門性向上を図る。 常勤・非常勤職員ともに研修機会を確保し、継続的な学びと専門性向上を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	新任スタッフへのOJT体制が明確でなく、指導方法の標準化が十分に進んでいない。	新人職員が安心して業務に慣れられるよう、育成フローやフォロー体制をより明確にする必要がある。	常勤・非常勤間の連携を円滑にするため、勤務形態に応じた研修機会の確保やOJTの充実を図り、育成体制の強化に取り組む。
2	兄弟児支援や保護者交流の機会が行事に依存しており、継続的な支援体制が弱い。 ペアレントメンター相談会の参加が限定的で、支援機会が十分に活用されていない。 家族の状況や課題が多様化しており、単一の支援方法では対応が難しいケースが増えている。	保護者のニーズが多様化し、相談方法・参加形態が一律では合わなくなっている。ペアレントメンター相談会は「個別相談を望む層」には合うが、「学びたい層」には外部講師研修の方が適している。	<ul style="list-style-type: none"> 参観後の短時間交流や、保護者が参加しやすい交流機会を定期的に設ける。また、事前アンケートによりニーズを把握し、参加しやすい内容や形式を検討する。 必要に応じて外部機関との連携体制を強化するなど、家族の多様化に対応した支援方針の整理を行う。
3	専門職(公認心理士・リハビリ職員)との連携を日々の支援に体系的に反映する仕組みが発展途上である。	専門職の助言を共有・活用するための仕組み(記録、会議、フィードバック)が整備途中である。	公認心理士やリハビリ専門職からの助言を職員間で共有し、個別支援計画や日々の支援に反映する。また、助言を“個人の学び”で終わらせず、組織的な知識として蓄積する。
4	事業所全体で毎日ミーティングを行っているものの、ケース検討や専門職助言の共有が十分に深まらず、支援方針の統一や情報の整理に課題が残っている。	毎日のミーティングが業務連絡中心になりやすく、ケース検討の時間が確保しにくい 情報量が多く、優先順位の整理や記録の標準化が追いついていない。	<ul style="list-style-type: none"> ミーティングの目的を「業務連絡」と「ケース検討」に分ける。 毎月1回は「ケース検討専用ミーティング」を設定する。 専門職助言の共有フォーマットを作る。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				回収数	
鼓ヶ浦つばさ園（児童発達支援・放課後等デイサービス）		令和8年2月24日				利用児童数	78
						82	78
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	70	5	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭もできて、外遊びが好きな息子は楽しく過ごしていると思います。 ・人数や特性に応じ、こどもにとって一番良い環境を整えるため、クラスを2つに分けて活動したりと、工夫がたくさん見られる。スペースが確保されている。 ・広さも十分に確保されている。 ・庭がないので狭く思うが遊び場はある ・ちょっと狭い気がします。 	<p>活動内容によっては、部屋を分散する等、こどもが安全に安心して過ごすことができるよう工夫しています。</p> <p>今後とも、こどもたちが安心して園生活を送ることができるよう、環境の整備や適正な職員数の確保に努めてまいります。</p>
2	職員の配置数は適切であると思いますか。	73			5	<ul style="list-style-type: none"> ・安心してお願いできる人数だと思う。 ・十分な人数で見られている。 ・いつも手厚いサポートありがとうございます。 ・いつも手厚く支援していただき感謝しています。 ・きめ細やかにみていただいて、大変ありがたい。 ・たくさんの先生がサポートしてくれるのでありがたい。 	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	71	2		5	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいについて詳しくないので、わかりません。 ・視覚支援を徹底し、かつ手作り、こどもにとってわかりやすく、愛着がわく絵を掲示している。 ・あまり中に入れないのでわからない。 ・こどものために視覚で見えるよう、掲示物の丁寧な作成がされている。 	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	77	1			<ul style="list-style-type: none"> ・いつも清潔に保たれている。 	
5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	78				<ul style="list-style-type: none"> ・クラス全員の先生がこどものことを理解し寄り添ってくださるので、〇〇先生が休みでもこどもから不安は見られない。 ・こどもの特性、こだわりを理解していただき支援が受けられている。 ・しっかりこどもと話して、理解しようとしている。 	一人ひとりの特性に応じた専門性のある支援を提供できるよう、職員の資質向上に努めてまいります。
6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	67	1		10	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムがわからない。 	支援プログラムについては、重要事項説明書や個別支援計画等の説明時に併せて説明するなど、丁寧な説明に努めてまいります。
7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	76	2				計画の具体的な支援内容や支援の進め方について、より分かりやすくご説明し、保護者の方と共有できるよう努めてまいります。
8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	73	2		3	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回親身に考えてくださり、説明も丁寧でわかりやすい。 	
9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	72	3		3	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に沿った支援が十分に行われているため、段階を踏んでステップアップできており、こどもにとって無理なく自己肯定感が高まっている。 	計画の目標や支援内容について、より分かりやすくご説明するとともに、実際に行った支援やお子さまの様子を具体的に伝えるようにしてまいります。
10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	68	1		9	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもと違う行動が見られた時に、すぐに声をかけてくださり、改善を遊びの中で取り入れられるよう活動に変化をつけて考えてくださる。 	子どもたちの発達状況や興味関心に応じて、活動が固定化されないよう工夫をしておりますが、こどもが楽しめる季節行事や園外活動等を積極的に取り入れてまいります。

	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	30	5	9	34	・学校見学や演奏会など参加させて頂けてありがたいです。 ・幼稚園と連携し、支援や目標を共有し、くくださるため、統一した支援でこどもが混乱しない。	コロナ禍以降実施できていませんが、感染症対策を考慮した上で、今年度は、地域の子どもたちと関わる機会を持てるように、総合支援学校の演奏会などに参加いたしました。こうした活動を通じて、子どもたちがさまざまな人と触れ合い、社会性を育むことを大切にしています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	78					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	78					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	69	4	2	3	・ペアレントメンターの勉強会や託児付きのセミナーはとてもよかったです。 ・研修会の案内等、頻繁に案内がある。 ・ペアレントトレーニングはネットのものを申し込み中ですが、こちらでも開催されると有難いと思いました。 ・視覚支援の全体の勉強会や構造化、問題行動の環境調整などの勉強会があればいいなと思いました。	毎月、ペアレントメンター相談会を実施し、希望される保護者向けペアレントプログラムを行っています。 多くの保護者の方に参加していただけるよう、広く周知を図ってまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	76	2			・気になることはすぐに伝えてくださるため、こどもの変化や成長も、より分かりやすい。 ・ノートや口頭で日々の支援について教えていただけるのは嬉しい。 ・保護者の話をしっかり聞いて、一緒に考えてくれる。	連絡帳や送迎時の情報交換、面談等により、園やご家庭での状況の把握と課題の共有に努めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	77			1	・定期的に面談があり、こどもの様子が共有でき、安心できる。 ・面談で話をするだけで、気持ちが軽くなり助けられている。 ・定期的にアドバイスをもらっている。	定期的な個別面談の実施や保護者からの相談にいつでも対応できる環境づくりを行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	78				・必ず共感してくださり、否定的なことを言われたことは一度もない。	保護者に寄り添った対応を心掛け、支援してまいります。
保護者への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	42	15	6	15	・親子イベント楽しめました ・保護者同士の交流も考えてくれている。きょうだいが見れるイベントがあったらよい。 ・参観日にきょうだい児が参加できるとありがたい・きょうだい児が参加できないことが多い・きょうだい向けのイベントの回数をもう少し増やしてほしい・きょうだい同士の交流があったら良い ・保護者同士、きょうだい同士の交流はあまりない。感染症の発症などの問題があり難しいと思うが、今年度は親子イベントできょうだい児の参加や他の保護者の方とも交流がありとても楽しかった。 ・こどもが言葉が発しにくいので、友達の名前がわからず交流を持ちたくても持つ第一歩が踏み出せない。クラス分けが決まった際に入園者に名簿を配布してもらえると助かる。 ・父母の会はペアレントメンターでしょうか。今後もイベントやセミナー等の情報は教えていただきたい。	「話々蒲つばさ園親の会」は、園児一人ひとりが自ら成長しようとする力を育むためにその保護者同士の相互理解を深め、交流を深めることを目的に活動しています。親の会役員を中心に、行事への参画や保護者勉強会の計画等を行っています。保護者同士の連携が支援できるよう、内容を工夫しながら取り組んでまいります。 きょうだいへの支援については、今年度、親子イベントへの参加や研修会の開催などを行いました。今後は、きょうだい児向けのイベント等の開催についても検討してまいりたいと考えています。 また、「父母の会はペアレントメンターでしょうか」という質問ですが、ペアレントメンターは県メンター養成研修を修了しペアレントメンター「グループ相談担当」に登録されている方です。毎月開催しているペアレントメンター相談会にうかが。今後もイベントやセミナー等の情報は教えていただきたい。
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	71	3	1	3		意見、ご相談を受けた際は保護者の心情に寄り添い解決に向け対応しています。また、個別面談や連絡帳、日々の申し送り等を大切に、ご家庭との情報共有を図っています。 今後とも、相談しやすい環境の整備と迅速な対応に努めてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	75			2	・詳しい状況がわかるように説明あり。 ・連絡帳にも丁寧にその日の様子が書かれていて、こどもと読むことが楽しみの一つになっています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	62	6	2	8	・コドモンの配信が大切なお知らせや給食のみなので、その日の様子など、クラスではこんなことをした等確認できるとよい。	活動概要や自己評価の結果等については、HP等を活用し情報発信を行っています。今後は、コドモンの配信等を活用した情報発信を検討してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	77	1			・他の事業所では、他のお子さんのことを言ったりすることもあるため、息子や他のお子さんの情報は周囲の方にはお話ししていただきたくありません。	当園では関係法令に基づき、利用者の皆さまの大切な情報を適切に管理することを最優先にしております。保護者の皆さまに安心してご利用いただけるよう努めてまいります。

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	70	2		6	・わかりやすく、プリントで配布されています。	各種マニュアルについての説明を徹底いたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	72			6		毎月のクラスだよりでお知らせしていますので、ご確認ください。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	73	2		3		保護者への周知を徹底いたします。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	68	2		8	・状況に応じて、すぐに連絡や報告をしてくださる。 ・以前、怪我をした際、素早く対応していただき、その時の状況も詳しく教えていただき安心しました。	事故等が発生した際には、速やかに保護者の方へ連絡し、説明をさせていただきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	77	1			・毎日楽しく通ってきて子ども親も大満足です。 ・車の中から安心した様子がみられ、冴での様子の延長のように感じている。いつも安心して通っています。 ・親子イベントの様子を見て、こどもは先生達のことが大好きなんだと思った。 ・つばさ園が好きで、毎日「つばさに行く」と言っています。 ・とても安心して通っています。	これからも安心して通園していただけるよう、こどもの心身に寄り添い、支援してまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	75	2		1	・毎日楽しく通ってきて子ども親も大満足です。 ・すごく楽しみにしており、日々成長して帰ってきます。 ・機嫌良く過ごせることが増えている。 ・とても楽しみにしているので通うことができて本当に良かった。通所を励みにして幼稚園も頑張っています。 ・先生やお友達に会えること、遊ぶことを楽しみにしていて、今日は○○と○○して遊ぶと楽しみにしています。 ・行き渋りがゼロで、とても有難い。 ・「行きたーい」ということもある。	毎日のお様の様子は、その都度保護者の方にお伝えし、ご家庭と情報共有しながら、一人ひとりの特性に配慮した支援に努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	78				・毎日楽しく通ってきて子ども親も大満足です。 ・満足です。通所できて嬉しいです。 ・大変満足しています。 ・こどもに寄り添って支援してくださり感謝しています。 ・こんなに手厚く支援していただける事業所はない。毎日大変感謝しています。 ・いつも手厚い支援で感謝しています。	

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 鼓ヶ浦つばさ園（保育所等訪問支援）

公表日 令和8年2月24日

利用児童数：18（保護者数：17）

回収数

10

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。	7	1	1	1	・ごどもに必要なものと判断されれば、次の訪問までで作っていただき、ともありがとうございます。 ・活用していません。	保育所等訪問支援の際に使用する教員教材の充実を図り、適切な支援に努めてまいります。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	10					
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	10					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	9	1				支援内容を決定する際には、保護者の意向やご家庭の状況をより丁寧に確認し、決定した内容については、保護者に分かりやすく説明し、共有するよう努めてまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5 ごどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	10					
	6 ごどものことを十分に理解し、ごどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10				・まずはごどもの事を第一に考えられているので、安心して相談できます。	保護者の方や保育所等との連携を大切にしながら、お子さま一人ひとりの成長や発達に寄り添った支援を継続してまいります。
	7 ごどものことを十分理解し、ごどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	8			2		計画の作成過程や反映内容を丁寧に説明し、保護者のご意見も大切にしながら、施設・担任・ご家庭が協力して支援を進めていけるよう努めます。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	1				厚生労働省のガイドラインに基づき、お子さまの特性に応じた具体的な支援内容を記載しております。保育所等と連携しながら、安心して過ごせる環境づくりを進めてまいります。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9			1		計画の目標や支援内容について、より分かりやすくご説明するとともに、実際に行った支援やお子さまの様子を具体的に伝えられるようにしてまいります。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	10					
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	1				利用者の皆さまに安心してご利用いただけるよう、より丁寧で分かりやすい説明に努めてまいります。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	9			1	・活用していません。	毎月、ペアレントメンター相談会を実施し、希望される保護者向けにペアレントプログラムを行っています。多くの保護者の方に参加いただけるよう、広く周知を図ってまいります。
	15 必要などきにごどもの状況を保護者と伝え合い、ごどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	10					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10					
18 ごどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、ごどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10						

	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	1			支援内容や連携の進め方について、より分かりやすい説明や確認の機会を設けるなど、保護者の方に安心していただけるよう改善に努めてまいります。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	7			2	今後は、訪問支援の際にどのような相談や助言が行われているかについて、保護者の方にも分かりやすくお伝えできるよう、情報共有の方法を工夫してまいります。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	9				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	9				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	2		4	つばさ園の活動内容等については、HP等を活用し情報発信に努めてまいります。自己評価結果は、園内掲示板とHPに掲載しています。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	6	2		1	緊急時には、訪問先施設の職員と連携して速やかに対応ができるよう、事前に確認を行うなど情報共有に努めます。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	1			安全に関する取り組みや具体的な計画について、より分かりやすく説明し、保護者の方に安心していただけるよう情報共有の方法を改善してまいります。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	9				・何度も訪問していただいているので、子どもも覚えてニコニコしているみたいです。 支援者とも少しずつ関係が築かれており、安心して過ごせるよう配慮しながら進めております。
	28	事業所の支援に満足していますか。	9				・支援のおかげで子どもの様子が知れたり、不安や不満などの話をきいてくださり、母の私も救われています。いつもありがとうございます。 安心して関わることができるよう配慮しながら支援を行っています。今後もお子さまの気持ちや様子を丁寧に観察し、無理のない形で支援を継続してまいります。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		鼓ヶ浦つばさ園		公表日	令和8年2月24日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		保護者の希望する登園日数や曜日を考慮し、1日の利用定員を超えないよう調整しています。令和7年1月に放課後等デイサービスの旧施設を改修して部屋数を増やし、グループ活動の充実につなげています。	国の基準は確保していますが、年々利用希望者が増加しており、障害の特性に応じた適切なスペースの確保に努める必要があります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準以上の職員を配置していますが、職員の出勤状況やこどもの状態等に対応するため、朝の連絡会で声を掛け合い、クラス間で調整を行っています。	多様な障害の特性に応じた支援体制を整え、安心してご利用いただける環境を確保してまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		施設内はバリアフリー化されています。こどもにもわかりやすい特性を考慮した構造化がされており、用途に応じた使用が可能です。情報伝達はコドモンやSECOMを活用し行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		生活空間は、毎日の清掃・消毒を徹底し、清潔で快適に過ごせる環境を整えています。こども達の状態や活動に合わせた環境整備を行い、室温調整やセラピーマットを活用し安心して過ごせるよう配慮しています。	今後とも、こどもが安全に安心して過ごすことができるよう適切なスペースの確保に努めます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○	室内は、できる限りこどもに応じた環境づくりや構造化を行い、クラス間で連携しながら過ごしやすい環境を提供しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		職員面談(パート職員を含む)を定期的に行い、目標の確認や振り返りを通して、より良い支援に繋がるよう業務改善に取り組んでいます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者からの評価結果を職員間で共有し、支援内容や環境づくりに役立てています。より良い支援が提供できるよう、継続的に業務改善を進めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日の連絡会や定期的な職員面談を通して職員の意見を共有し、協議を重ねながら「働きやすい環境づくり」に取り組んでいます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		年4回、山口県発達障害者支援センターの相談員によるコンサルテーションを受け、外部の視点から助言をいただいています。また、実習生の受け入れや公開療育、他機関からの見学を通して、多様な意見や視点を取り入れ、業務改善に役立てています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		職員は役割に応じた研修に計画的に参加しています。また、研修内容を職員全体で共有する伝達研修も行っています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		令和8年3月に公表予定です。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員間で共有した計画をもとに、関わる職員が話し合い、共通理解を深めた上で、計画を実施しています。	勤務時間が異なるパート職員に対しても情報共有のための時間の確保に努めます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		遠城寺式発達検査や、発達障害児向けの標準評価キットを活用し、こどもの発達の様子を丁寧に確認しています。その結果を計画に反映し、よりこどもに合った支援につなげるようにしています。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		毎月のカリキュラムは、クラス会議等で協議を行い決定しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節行事や園外活動の内容を見直し、こどもたちが楽しく通えるよう工夫しています。また、当園の役割を踏まえ、生活リズムの調整やADLの発達を促す支援、保護者へのサポートにも取り組んでいます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		クラス活動・小グループ・個別プログラム等、様々な形の支援を組み合わせ、こども一人ひとりの発達やペースに合わせた関わりを行っています。その子に合った方法で取り組むことで、無理なく楽しく成長につながるよう支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前には、職員間で当日利用するこどもの活動内容及び個別課題の情報を共有しています。	勤務時間が異なるパート職員に対して情報共有を図る時間の確保が必要です。伝達方法を工夫し、必ず確認するよう努めます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日の連絡会でこどもの様子を職員同士で共有し、必要に応じて支援方法を見直しています。その都度、共通理解を図ることで、より一貫した支援につなげています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		連絡帳や業務日誌を活用し、その日の支援内容や気づき、保護者とのやり取りを記録します。記録をもとに職員間で検証を行い、支援の改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6か月毎のモニタリングに加えて、定期的に個人面談を実施しています。	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		モニタリング時期には、保護者、担当者、クラス職員、児童発達支援管理責任者及び相談支援専門員と担当者会議を開催しています。		
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○				
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		併行利用や就園の際には、保護者の了承を得た上で、利用先との情報共有のための申し送り等を行っています。就園後のフォローも継続して行っています。		
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就学の際には、文書及び口頭で申し送りをしています。また、教員が当園での様子の見学を希望された際には、こどもの現状や支援方法について丁寧にお伝えしています。		
関係機関や保護者との連携	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		事業所からの依頼に応じて、支援方法について助言を行っています。また、併行利用しているこどもを通して、双方が共通理解を深められるよう連携しています。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		年4回のコンサルテーションを受け、リハビリ担当者からも適宜アドバイスを受けながら支援の質向上に努めています。また、外部研修を計画に基づき実施し、職員の専門性向上に取り組んでいます。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		周南市地域自立支援協議会こども部会に所属し、地域の課題について協議しながら、より良い支援体制づくりに取り組んでいます。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				

	32	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	○	子どもや家族の希望を大切にしながら、保育所や幼稚園などとの併行利用やスムーズな移行を進めています。地域の中で子どもたちが一緒に成長できるよう支援することで、子どもと地域がつながる環境づくりに取り組んでいます。	今後は、保護者のご意向を伺いながら、感染症対策に配慮した上で、保育所等との交流を再開していきたいと考えています。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	定期的な保護者面談や、毎日の通園時の申し送りを通して、家庭との連携を大切にしています。また、質問やご心配なことがある際には、その都度お話を伺う機会を設け、丁寧に対応しています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	年3回の保護者勉強会に加えて、月1回のペアレントメンター相談会を実施しています。また、メンターによるサポートブックの活用方法や福祉制度に関する研修会も開催し、保護者の皆さまが必要な情報を得られる機会を提供しています。	より多くの保護者の皆さまにご参加いただけるよう、幅広く情報をお伝えしながら、参加を促してまいります。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	モニタリング以外にも定期的に保護者面談を行っています。また、必要に応じて電話や面談等で個別に話をする時間を設けています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	親の会役員を中心に、保護者の希望を伺いながら、年3回の保護者勉強会を実施しています。また、親子イベントや参観日を企画し、保護者同士がつながれる場づくりにも取り組んでいます。	今年度は、きょうだい児も参加できる親子イベントを開催しました。今後は、保護者同士・きょうだい同士の交流がさらに深まるような企画づくりにも取り組んでいきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	相談しやすい環境づくりに努め、内容に応じて関係機関と連携しながら、迅速に対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	年間予定表、毎月のクラスだよりを発行しています。さらに、コドモンを使って給食だよりやさまざまなお知らせも発信しています。	コドモンをより活用し、保護者の皆さまに分かりやすく情報をお届けできるよう取り組んでいきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	関係法令を遵守し適正に管理しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	絵カードやスケジュールボード等を使ったコミュニケーション支援、難聴児への専門職員による支援等を行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	感染防止対策を徹底した上で、教育実習生の受け入れや他機関からの見学を実施しています。	今後も安全に配慮しながら、地域に開かれた事業運営を目指してまいります。
非常時等	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	おたよりを通して、安全に関する取り組みをお知らせするとともに、月1回、災害(火災、土砂災害、地震)を想定した避難訓練を実施しています。また、年1回、保護者への引渡し訓練を行っています。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○	入園時の情報をもとに、個別対応マニュアルを作成しています。また、看護師と連携し定期的に見直しを行っています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		

す の 対 応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		保護者の皆さまが確認できるよう、安全計画の取り組み内容をホームページに掲載しています。また、SECOMを活用した引渡し訓練を実施し、その内容についても保護者へ周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		毎日の連絡会で、その日起こったヒヤリハットについて報告し、再発防止の対策も含め、職員間で情報共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人全体で定期的に研修会を実施し、職員自身のセルフチェックも行いながら、支援内容の検証と評価を行っています。こうした取り組みにより、より良い支援が提供できるよう努めています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		車イスのベルトや机の使用など、安全のために必要な支援については、身体拘束にあたるかどうかも含めて、事前に保護者へ説明しています。その内容は個別支援計画にも記載し、共有しています。	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				
鼓ヶ浦つばさ園		令和8年2月24日				
		利用児童数			回収数	
		18			13	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	13			<ul style="list-style-type: none"> ・とても助かっています。 ・園でできることを一緒になって考えていただいた。 ・いつも適したアドバイスで、実行するとすぐに状況がよくなり助かっている。 ・つばさ園での支援を共通してできることで、こどもも安心して行動している。 ・とてもわかりやすく説明していただき、簡単なことからすぐに取り入れていきます。 ・助言や説明は具体的でわかりやすく、「取り組んでみよう」という気持ちになります。 	お子さまが集団生活を安心・安全に過ごせるよう、一人ひとりの育ちや発達ニーズに応じた適切な支援を取り入れながら、健やかな成長を支えてまいります。	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	13			<ul style="list-style-type: none"> ・満足しています。 ・保育士が「どうなんだろう」と思う事柄について、専門的な視点から本児の気持ちや状態を指導していただいたので勉強になった。 ・つばさ園でのことなど教えてくださりとても参考になっています。 ・その子に合った絵カードや支援で必要な物を作ってくださいとてもありがたいです。 ・園の様子を実際に見ていただいて、的確なアドバイスをいただいています。 ・支援のための具体物を作っていたり、使い方をわかりやすく教えていただいたりしています。 	今後もこどもの特性に合わせた専門的な支援の提案、提供ができるよう努めてまいります。	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	13			<ul style="list-style-type: none"> ・満足しています。 ・毎回丁寧に話を聞いてくれた。 ・どのような質問をしても親切にわかりやすく具体的に言ってくれるので、改善しやすい。 ・側に一緒について、適時、支援の方法を伝えてくれてわかりやすい。 ・電話でもすぐに対応してくれて、とても助かります。 ・行事等の対応の仕方、成長に合わせた支援の方法など、大変参考になります。 	訪問事業を通して教育効果を最大限に引き出すことができるよう支援の向上に努めてまいります。また、各関係機関と連携を図り、支援方法の共有ができる環境を整えてまいります。	

4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	9	4	<ul style="list-style-type: none"> ・とても軽減しました。 ・支援員との連携はとても良いものであったが、家庭の協力があまり得られず、大きな成果につながらなかった。 ・運動会の行事など的確なアドバイスで本児がとても動きやすくなった。 ・本児の問題点などすぐに解決しないけど保護者と共通理解することができた。 ・ケースがとても難しい案件のため、次々と困り事はあるが、少しずつ解消はされています。 ・課題や困りごとに適切なアドバイスをいただけること、困りごとに共感していただけることで、担任も安心感があり、加配の職員との取り組みにも共通理解を持つことができています。 ・こどもの体調や気分によってできないことがあったり、指導して下さったことができなかったりする。 	一人ひとりのこどもの特性や発達段階に応じて、環境の調整や活動への参加方法に工夫を凝らし、無理なく楽しく取り組めるよう支援してまいります。また、訪問先の先生方と継続的に情報を共有しながら、こどもの成長や自信につながるような関わりを大切にしていきます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	13		<ul style="list-style-type: none"> ・満足しています。 ・園の状況にも理解を示していただき、専門的な視点・アプローチ方法など知識を深める学びとなった。 ・園での保育だけだったら本児がここまで成長していなかったと大満足です。 ・自分の知らないことをたくさん学べて、とても勉強になります。 ・これから視覚支援が主になってくるかと思えます。具体的な取り扱い方を学ばせてください。 	今後も、子どもたちが地域社会や集団生活の中で安心して成長できるよう、保育所や幼稚園、認定こども園などを定期的に訪問し、発達や行動面で気になる子どもへの観察・助言、保育士への支援方法の提案、保護者への相談対応など、専門的な支援を継続的に提供していきます。
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・いつも園での支援を応援していただき、ありがとうございます。就学に向けてのアドバイスをありがとうございます。また、職員がいろいろな質問をするのに対しても丁寧に教えてくださるので、とても勉強になっています。 ・幼稚園では伝えてくれない保護者の思いを聞くことができ、保護者の思いを踏まえ考えながら園からお話することができるので、とてもありがたかったです。 ・いつもありがとうございます。手厚いご指導に感謝しております。 ・訪問支援員がいらしてくださいと、生徒を担当されている先生方は心強いと思います。 ・保護者の相談に、丁寧に対応していただいていることがよく分かり、学校としてもありがたいです。 ・教員として保護者に伝えにくいことを寄り添いつつ話して下さることで、適性に就学を進めることができました。ありがとうございます。 ・おかげ様で、保護者の方とも連携をしっかりと取りながら、保育にあたることができています。 ・本校児童の放課後等デイについて、働きかけいただくなど、感謝しております。 ・いつもお世話になり、ありがとうございます。今後ともよろしく願っています。 				<p>保育所等訪問支援は、こどもの発達全般や障害の特性・行動の特性を理解し、こどもの育ちの充実を図ることを目的に行っています。保護者や各支援者が、互いにこどもの成長を喜び合えるような信頼関係を築きながら、支援者としてこどもの育ちを支えてまいります。</p> <p>また、当園では、周南圏域の支援者等を対象とした公開療育を開催しています。発達障害児への支援について理解が深まる機会となるよう当園における療育プログラム等を紹介していますので、是非ご参加ください。</p>	